原っ子

学校だより №43（通算86号）
令和６年２月１６日
小郡市立大原小学校
校長　山本貴澄　Tel 72-5500

合言葉「チャレンジ！ みんなで学ぶ やりとげる」
２月後半のめあて「１年をふり返り、まとめに取り組もう」

【もうすぐ春ですね！】

２月７日　「人権を考える日」の学習

市内の小中学校では、人権感覚豊かで自分や友だちを大切にする子、誰もが安心して過ごせる学級を目指して年４回、道徳や総合的な学習で「人権を考える日」の学習を設定しています。今回は４回目となります。各学年で取り組んだ内容をお知らせします。四角囲みは子どもたちの感想です。ご家庭でも人権について考える機会となればと思います。

【１年生】
教材名：「こんなことはいやです」（道徳）
ねらい：〇一人でぽつんとしている子やさみしそうにしている子がいることに気付き、その子の気持ちや友達への関わり方について考える。

★　ひとりのともだちがいてもはずかしくてなにもいえなかったけど、きょうのべんきょうで、ひとりになったらどんな気もちかをしれたから、もうはずかしがらずにいける。
★　みんなにこにこになったらうれしいな。みんながそとでげんきにあそんでいるとうれしいな。

□　大原小学校に通ってもうすぐ１年。みんなで学び合い、助け合って、多くのことをやり遂げた１年生です。これまでの経験の中で、一人ぼっちでいる子や困っている子に敏感に気づいて、声をかけたり、手伝ってあげたりしている姿を何度も見ました。やさしく、頼もしい子に育っています。

【２年生】
教材名：「さっちゃんのまほうの手」（道徳）
ねらい：〇「自分のことを大切にしてほしい」という思いは誰もがもっていることに気付く。
〇自分のことを大切にされていることが分かり、友達も同じ思いでいることに気付き、相手のことを思いやる関わり方について考える。

★　さっちゃんは、きっとお母さんになれるよ。しんじてる。手のゆびがなくてもお母さんになれる。友だちからつよきでいわれてとてもかなしかっただろうね。しあわせですごしてね。それがじぶんのしるしだから。
★　私もこれからみんなとちがうところがあってもみんなと同じがいいな。「みんなとちがうのいやだな」じゃなくて自分はこれでいいの。「みんなとちがってもいいの」と思うようにします。べつにぜーんぶちがってもいいの。私には私の自分らしさがあっていいの。

□　さっちゃんの右手には生まれたときから指がありません。でも、「お母さんの大好きなさちこのかわいい手」「さちこと手をつないで歩いていると、とっても不思議な力がやってきて、お父さんの体いっぱいになるんだ」と伝えられて、さっちゃんは自分が大切にされていることに気付きます。やさしく、たくましく生きるさっちゃんの成長を応援したくなりました。子どもたちも静かにこのお話の読み聞かせを聞いていました。心に響く学習になったと思います。

【３年生】
教材名：「あしなが」（道徳）
ねらい：〇うわさ話や見た目から判断して行動するのではなく、自分で見たこと、聞いたこと、調べたことから正しく判断して行動する大切さについて考える。

★　うわさでは決めつけないで、思いやる心が大切だと気づけてよかったし、今からもこんなことがないといいです。うわさをしんじないで、ちゃんと見てから言うべきだと思いました。自分が言われたときの気もちを考えてやっていきたいと思います。

□　あしながは野良犬たちが言うには「悪いやつ」「ひどいやつ」。ケンもうわさを信じてしまいます。でも、ケンがあしながの本当の姿を知ったとき、心がしめつけられ一晩中眠れなくなります。悪いうわさを信じたケンですが、自分のまちがいに気づき、あしながの本当の姿をつたえようとします。そんなケンの姿に共感し、自分の心を見つめ、自分の行動に生かしていくことが大切だと思いました。

【４年生】
教材名：「なかまをもとめて」（道徳）
ねらい：〇学級を変えていくのは自分たち一人ひとりであることを自覚できるようになる。
〇自分たちの学級を振り返り、つらいことや苦しいことを伝えたり、それを受け止めたりすることの大切さを感じ、よりよい仲間に変わっていくために何ができるかを考える。

★　わたしのクラスも「まちがっている」ことには、「まちがっている」と言えるクラスになりたい。差別やいじめのないクラスになりたい。いっしょになって差別やいじめをしないようにしようと思った。

□　もうすぐ４年生も終わります。これまで、みんなで学び合い、助け合ってきた４年生ですから、自分のクラスのよさやできるようになったことについてみんなで確かめ合い、友達との絆を感じることができると思います。勇気を出して自分の思いを伝えること、その思いをくみ取りどうすればいいかみんなで考えること、ぜひ５年生でも続けてください。

【５年生】
教材名：「どうしてよんでくれんかったと？」（道徳）
ねらい：〇偏見や差別は、された側の心を傷つけるだけでなく差別した側の心にも後悔として残ることを理解する。
〇正しいことを知り、偏見や差別をなくす社会を自分たちでつくっていけるように考える。
〇うわさ話や決めつけで偏見をもったり人を傷つけたりしていないか、自分を振り返る。

★　ぼくは、人権学習をたくさんしてきて、全ては差別から始まっていると知りました。しょうがいをもっているから仲間はずしをするなど、全部自分をふつうと見立てて、自分はあの人とちがうと言い、自分からにげていじめを起こしているんだと思います。
　だから、一回でよいからふつうとは何かを考えて、人間にふつうなんていうような、しばられるようなものはないと気づいてほしいと思います。
　昔は、まだいろいろはってんしていなかったから、ハンセン病などよく分かっていなかったと思うけど、だからこそくわしく調べて正しく考えてほしいと昔の人に言いたいと思いました。　※今までの人権学習を振り返って考えたこと

□　５年生は、戦争、アイヌ、ハンセン病、障がい者、**LGBTQ**、部落差別（詳しくは６年生で学習）など多くの人権問題について学びました。人は誰でも幸せに生きる権利をもっています。みんなが幸せに暮らせるにはどうしたらいいか考え行動できる実践力を６年生でも身に付けていきたいです。

【６年生】
教材名：「解放の道ひとすじ　小郡市名誉市民　上杉佐一郎の生涯」（総合的な学習）
ねらい：〇上杉佐一郎さんが国民全体を巻き込みながら運動していった意味について考え、部落差別をなくすために自分ができる行動につなげる。
〇人権教育啓発センターの見学に向けて、小郡市名誉市民となった上杉佐一郎さんの生涯や活動について知る。

★　上杉佐一郎さんについて知って、差別を受けた人の運動を国民全体での運動にするという考え方はとても素敵だと思いました。日本だけでなく、世界でも運動を続け、**IMADAR** で集まったアイヌの人などは、とても安心したと思いました。佐一郎さんの「戦争は最大の人権侵害だ」という言葉で、平和の大切さを改めて知ったので、これからも平和な世の中にしていきたいです。

□　上杉佐一郎さんの生涯に学び、自分の生き方について見つめました。６年生は、小郡市人権教育啓発センター見学に行き、施設の役割と上杉佐一郎さんについて学習しました。誰もが幸せに暮らせる社会をつくっていくため、問題意識をもちその解決のために行動できる人になってほしいと思います。

今年度最後の学習参観へのご出席、ありがとうございました

　今日は１年生から５年生まで今年度最後の学習参観でした。学校においでいただきましてありがとうございました。お子さんの学習の様子はいかがだったでしょうか。多くの学級でこれまで学んだことやできるようになったこと、自分の将来に向けて発表する姿が見られました。子どもたちの一年間の成長を感じていただけたら幸いです。
　６年生は、３月４日（月）にお家の人への「感謝の会」を予定しています。この日は、全学年で学級分会も行います。一年間の子ども達の様子や思い出を振り返り、まとめとしたいと思います。ぜひご出席ください。お待ちしています。